

2019年2月27日

エア・ウォーター株式会社  
(証券コード 4088)  
東証一部・札証

**手術室映像システム「RESTAR (リスター)」を発売  
～院内での情報共有により、最先端の治療を支える手術映像システムを提供～**

エア・ウォーター株式会社(代表取締役会長・CEO 豊田 昌洋、以下:当社)は、手術をより安全に、より効率的に実施するための、手術室映像システム「RESTAR (リスター)」を企画・開発し、2019年2月28日(木)より販売を開始しますので、お知らせします。

記

1. 開発の背景

当社の医療関連事業は、病院設備工事、医療用ガス供給、病院業務のアウトソーシング受託、設備機器のメンテナンス業務から、衛生材料、注射針の取り扱いや在宅医療に至るまで、多岐にわたる製品・サービスを提供しています。また、病院の中核機能である手術室の設計・施工においては、手術室に関わる設備・機器を一括で提供できる「ワンストップ・ソリューション」を強みとし、国内トップクラスのシェアを有しています。

近年、医療機関においては、手術の質や安全性向上の観点から、手術中に術野の映像や検査画像を活用するニーズが高まっています。こうした中、当社では、『手術室内の映像コントロール』や『映像の自動録画』、『動画保存』、『リアルタイムライブ配信』といった映像の活用に加えて、院内の情報システムサーバー等と連携した『メッセージング機能』などを、一貫して構築できるオリジナルの手術室映像システムを企画・開発しました。

当社では、手術室の設計・施工に加え、最先端の治療をビジュアルテクノロジーで支えるための映像システムを提供することにより、周術期<sup>\*</sup>分野における医療関連事業を拡大してまいります。

2. 製品の特長

①ソフトウェアベースのシステム

従来の手術室映像システムで主流であった、ハードウェア中心のシステムではなく、ソフトウェアを中心としたシステム構成とし、様々な映像信号や4Kや8K等の新しい規格にも対応しています。

②ユーザーフレンドリーな操作画面

操作方法を一新し、スマートフォンの様にアイコンを中心とした使いやすい操作画面(GUI)により、直感的に利用いただける操作性を実現しました。

### ③医療情報の連携活用

HIS(病院情報基幹システム)や各種部門システムと情報接続を行うために開発した Gateway を利用して、医療情報の連携を図ります。

### ④手術オペレーションの自動化

手術室内のスタッフ業務の一部を『自動化』し、手術室の運営の効率化を実現します。

## ■手術室映像システム「RESTAR (リスター)」



RESTAR 本体

RESTAR 操作用パネル

### 3. 製品概要

製品名：手術室映像システム「RESTAR (リスター)」

基本構成：リスターハードウェア、ソフトウェア、15インチタッチパネル

オプション：カメラコントロール、マルチ画面合成機能、患者情報連携 Gateway、映像録画保存、映像配信、院内自動メッセージング他

### 4. 販売目標 発売後5年で累計200台(初年度：30台)

※周術期：入院、麻酔、手術、回復といった、患者の術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間

—— 【ニュースリリースに関するお問合せ先】 ——

◇ エア・ウォーター株式会社 東京広報室 野田

住 所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番19号

電 話：03-3578-7804

E-mail：info-tokyo-koho-h@awi.co.jp

社長室 広報・IR部 中井・石井

住 所：〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目12番8号

電 話：06-6252-3966

E-mail：info-h@awi.co.jp

—— 【製品に関するお問合せ先】 ——

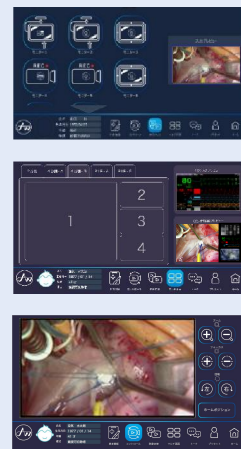
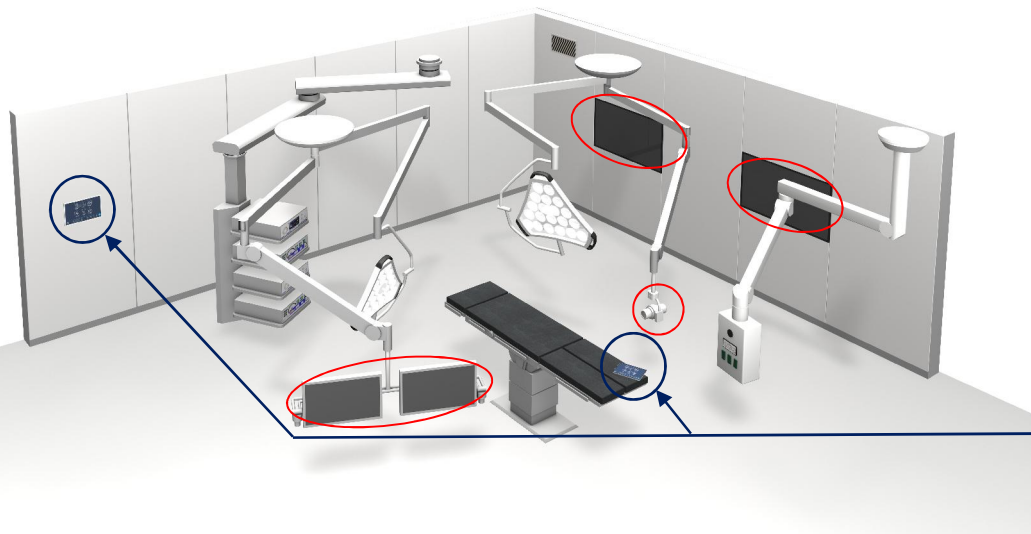
---

◇ エア・ウォーター株式会社 医療カンパニー 海外医療事業部  
グローバルソリューション部 佐藤  
住 所：〒105-0014 東京都港区芝二丁目13番4号  
電 話：03-5439-9582  
E-mail：info-awigs-h@awi.co.jp

# 〔補足資料〕 手術室映像システム「RESATR」の特長

## 映像システムとは？

内視鏡や顕微鏡、生体情報、放射線画像などを、医療スタッフに共有し手術を円滑に進める為のシステムです。



操作用パネル

### 映像切替

各種モニターの表示映像を切り替え

### マルチ画面表示

複数の映像を1画面に合成

### カメラコントロール

スマホのような簡単操作

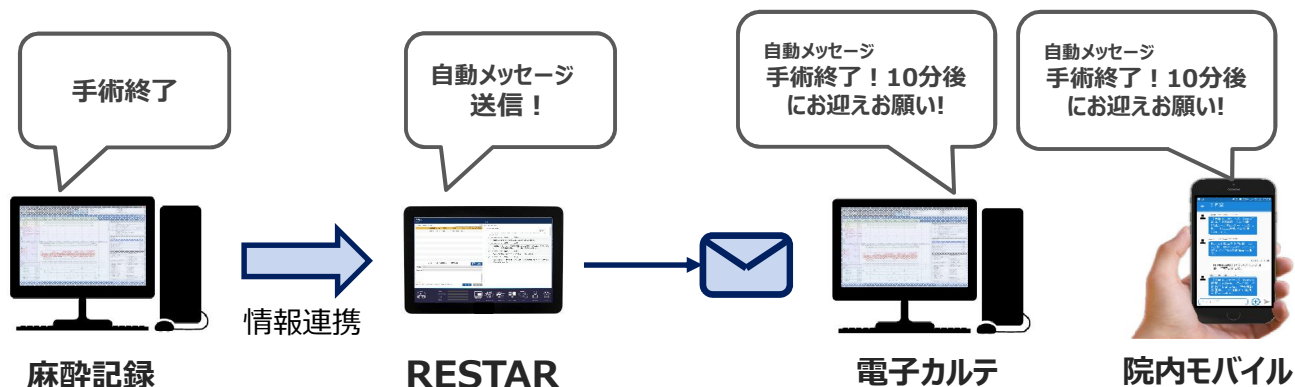
### 医療情報連携

病院情報を使った的確な情報共有

\* 記録/保存/配信も併せてご提案致します。

## 効率アップのお手伝い

手術の進行に合わせて『自動でメッセージを送信』します。オンコールを減らしてコミュニケーションをサポートします。



- ・電子カルテシステム及び麻酔記録システムと連携します。
- ・『入室』『手術開始』『麻酔終了』『退出』等の情報を他部門に自動お知らせ
- ・各種病棟部門や清掃スタッフへの連絡も自動で行います。